

令和元年5月8日(水)

地区大会が始まります。理科社会課外は来週からです。

陸上競技は、5月10日から12日までいわき市陸上競技場において、令和元年度インターハイの地区予選が始まります。各競技も続々と地区予選が展開されていきます。

5月の終わりから6月の初旬にかけて、県大会が開催し、さらには東北大会、全国大会と続いていきます。

合わせて、理科社会の平常課外が来週から始まります。この課外は、3年生を対象に土曜日に開催する機関も含めて冬季休業まで続けられます。

基本的に平常課外は、先生方が率先しての課外開催ですので、勤務時間を超えての指導ですが、課外手当の対象とはなりません。長期休業中も、勤務日である場合は、先生方に課外手当は支払われません。

東京都などでは、学校の授業以外の課外そのものはありませんし、進路指導なども特定の学校では若干あるものの、原則個人に任せられているところです。

地方の進学校では、課外指導や進路指導やAO入試の面接指導・提出書類の指導、前期試験の小論文指導・面接指導、後期試験の小論文指導・面接指導など、様々な指導の上に大学受験が成り立っています。

近頃は私大入試も飛び切り難化していることから、選択授業の中でも、個別大学入試問題への対応を余儀なくされているところでもあります。

生徒諸君は、学習活動と部活動の両立を目指し、それぞれの活動に全力で取り組んでいます。ただし、それぞれの活動を満足させる取り組みとするためには、相当の準備と綿密な計画と毅然とした実行力が試されているのであります。

3年間を見通した用意周到な準備がないと、おいそれと良い結果が出ていかないことも事実であります。言うは易く行うは難しであります。だからといって、今の生徒たちの気持ちがすくんでしまっては元も子もありません。

心技体の充実と、「基礎的な知識及び技能」、「これらを活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力」、「主体的に学習に取り組む態度」の3要素を身に着けた「確かな学力」を自分のものとするのが求められています。

といっても、若者らしく様々なことに疑問を持ちながら課題解決のために様々な試みを積極的に行い、時には挫折し、しかしもう一度よみがえってまたチャレンジするというたくましさが大切だとも思います。

生徒諸君、前を向いてどんどんチャレンジしていこう。失敗は成功の母でもあるはずだ。最後の最後に成功する自分であればよいと思いますよ。

